

1. 令和7年度 宮城県農業行政の概要

共創力強化

～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～

○現状と課題

自然災害の激甚化、特定家畜伝染病の頻発化、さらには、国際情勢の変化等による資材価格の高騰も加わり、我が県の農業をめぐる環境は一層厳しさを増しています。

一方で、東日本大震災からの創造的な復興の取組により、大規模土地利用型農業や先進的施設園芸に取り組む法人が増加し、農業生産の効率化・高度化が着実に進んでいるほか、契約栽培による園芸作物のバリューチェーンの進展など、新たな動きも見られます。

これらの動きに対応するべく、「農業・農村の持続的発展に向けた環境と調和した持続可能な食料システムの構築」や「若者や女性にとって魅力的な農業・農村づくり」を進める必要があります。また、「食料安全保障の強化に向けた食料や肥料、飼料の自給力向上」など、生産の体質強化に向けた更なる取組も求められています。

○令和7年度の基本的な方向性

「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」で目指す姿の実現に向け、RTK基地局を利用した自動操舵システムや施設園芸での高度環境制御技術の普及拡大、畜産分野でのICT活用など、農業・農村のDXを進めるほか、SDGsの理念や「宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョン」に基づき、バイオ炭等地域の未利用資源の活用や牧畜連携による自給飼料の生産、ため池ソーラーによるエネルギー自給の検討などを進め、農業の持続的発展を目指します。また、農村社会の維持・活性化に向け、若者や女性等の多様な人材を活用した地域づくりや関係人口の創出、地域の拠点としての農産物直売所の機能強化などを図ります。

さらに、食料・農業・農村基本法見直しの趣旨を踏まえた今後の施策なども活用しながら、食と農に関わる人材が連携・協働して取組を推進することにより、豊かな食と農の未来の構築を目指します。

○重点施策

I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

- 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進
- 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化
- 県民への安全・安心な食料の安定供給

II 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

- みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成
- 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化
- 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化
- 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立
- 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興
- 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

III ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

- 関係人口と共に創る活力ある農村
- 地域資源を活用した多様ななりわいの創出
- 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
- 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

「次代に向けて田水郷をつなぐ みやぎの農業・農村」

「田」…先人が築き上げてきた優良な生産基盤 「水」…水循環を支え農業生産に欠かせない農業用水 「郷」…美しい農村環境やそこで受け継がれてきた伝統・文化



令和7年4月
農山漁村なりわい課
農村振興課
農村整備課
農村防災対策室

農業・農村を取り巻く情勢・課題

- 『みやぎ食と農の県民条例』で掲げる4つの目標
- 安全で安心な食料の安定供給
 - 農業の持続的発展
 - 多面的機能の発揮
 - 農村の総合的な振興

第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画(R3～R12)における主要目標

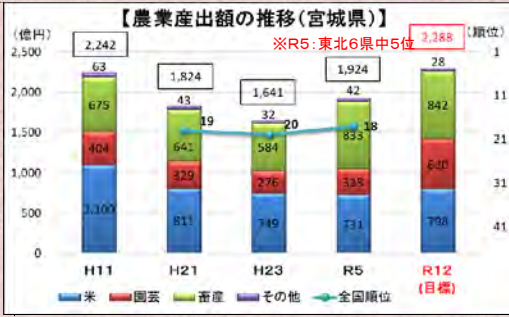
農業産出額:1,939億円(H30) ⇒ **2,288億円(R12)**
農地面積:126,300ha(R1) ⇒ **122,175ha(R12)**

○全国トップクラスの大区画水田整備率
東北6県における水田整備率(R4)

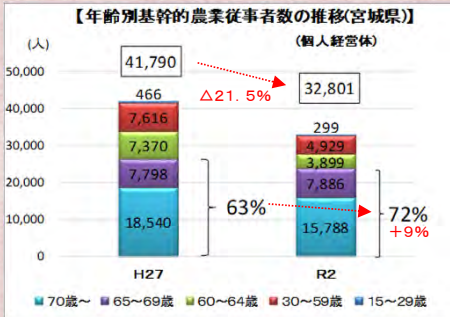
	水田整備率		うち大区画整備率	
	30a以上	全国順位	50a以上	全国順位
青森県	67.6%	15	6.7%	20
岩手県	53.8%	28	11.4%	9
宮城県	70.7%	11	31.4%	2
秋田県	69.9%	14	26.2%	3
山形県	78.9%	7	4.5%	30
福島県	75.0%	8	7.3%	18

出典:農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」

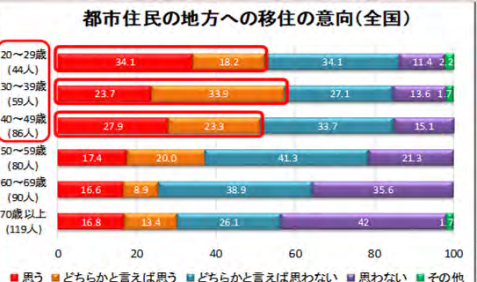
○農業産出額の低迷



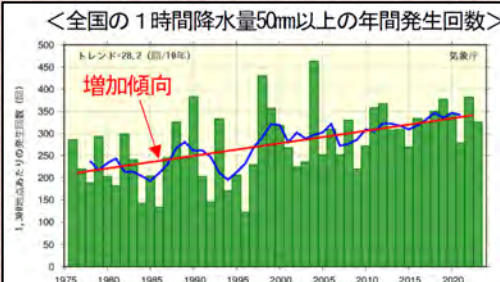
○農業者の減少・高齢化



○田園回帰に対する意識の高まり



○頻発化・激甚化する自然災害

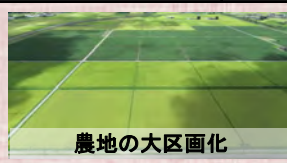


重点推進プロジェクト(R3～R7)

収益力向上に向けた基盤整備プロジェクト

- ◆ **農地の大区画化**のほか、**地域の特性を活かした収益性の高い作物の導入**に向けた**水田の汎用化**を推進します。
(具体的取組内容)
- ・地域振興作物等を中心とした作付計画策定を推進
 - ・栽培作物を考慮した地下かんがいシステム等の導入
 - ・中山間地域における農地耕作条件の改善を推進

推進指標	R元年 (基準年)	R5年	(R5年目標値) R5進捗率	R7年
大区画化水田整備面積 [ha]	35,397	36,548	(36,800) 99.3%	37,500
汎用化水田の面積 [ha]	78,787	80,021	(80,340) 99.6%	81,100
野菜等の高収益作物を導入する新規地区数(地区)	4	21	(23) 91.3%	30



農地の大区画化



水田の汎用化

地域と関わりを持つ関係人口の創出プロジェクト

- ◆ **農山漁村交流拡大プラットフォーム**により、ビジネスを展開したい**農林漁業者や団体**、さらに**県内外の企業や個人とのネットワークを構築し、新たな関係人口を創出**します。
(具体的取組内容)
- ・新たな農村ビジネスの創出などの持続可能な地域づくりに繋がる活動を支援
 - ・援農ボランティアや郷土芸能・郷土食継承活動を支援

推進指標	R元年 (基準年)	R5年	(R5年目標値) R5進捗率	R7年
農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数(団体)	—	91	(51) 178.4%	55
都市と農村の交流活動に参加した人数(人)	284	491	(308) 159.4%	320



都市農村交流フィールドワーク



大学生との交流活動

農村の暮らしを守る防災・減災対策プロジェクト

- ◆ **農村地域の安全・安心な暮らしを守るため、防災重点農業用ため池に係る防災対策を推進**するほか、**田んぼダム**に**取り組み**ます。
(具体的取組内容)
- ・ため池サポートセンターを設置し、適切な保全管理を支援
 - ・ため池の安全性について調査調査を実施し優先度の高いため池から対策工事を実施
 - ・モデル地区における田んぼダムの効果検証

推進指標	R元年 (基準年)	R5年	(R5年目標値) R5進捗率	R7年
地震・豪雨対策に取り組む防災重点農業用ため池の数(箇所)	—	11	(9) 122.2%	9
田んぼダムを導入した面積 [ha]	26	338	(210) 161.0%	330



防災重点農業用ため池の対策



田んぼダム普及啓発活動

令和7年度主要事業

※事業費はR7当初(事務費を含む) (単位:千円)

- ◆競争力のある農業の実現に向けて、担い手への農地の集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備を推進します。また、野菜等の高収益作物の導入による収益性の向上を目指し、水田の汎用化を進めます。

令和7年度 農地整備実施地区数 51地区(区画整理A=288ha)
令和7年度 調査計画地区数(農地整備) 13地区(うち新規1地区)

・農地耕作条件改善事業【 なり 】	4,083
・農村総合整備事業【 なり 】	19,409
・農業農村整備事業実施計画策定費【 村振 】	120,330
・県営ほ場整備事業調査【 村振 】	10,500
・農地整備事業【 村整 】	6,440,668
・水利施設整備事業【 村整 】	1,255,104

- ◆農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農の継続等に対して支援を行います。

令和7年度 日本型直接支払取組予定面積 A=76,540ha

- ◆農山漁村地域が自ら課題を解決し協働する課題解決型・協働型地域コミュニティに変革する土台作り、大学生などの多様な人材による地域づくり、農村の暮らしや仕事を体験し地域との関わりを深める関係づくりを支援します。

・多面的機能支払事業【 なり 】	2,205,855
・中山間地域等直接支払交付金事業【 なり 】	266,000
・鳥獣害防止対策事業【 なり 】	475,581
・県営農道整備事業【 なり 】	136,500
・シン・令和のむらづくり推進事業【 なり 】	16,629
・農泊地域周遊ビジネスモデル構築事業【 なり 】	9,000

- ◆防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策として、早急に対策が必要な防災重点農業用ため池等の安全性対策や用排水施設の機能保全対策に取り組みます。

令和7年度 防災重点農業用ため池整備 8地区
令和7年度 用排水施設の機能保全対策 28地区
令和7年度 調査計画地区数(防災) 18地区(うち新規7地区)

- ◆洪水被害を緩和する「田んぼダム」について、モデル地区で効果を可視化するとともに、シンポジウムの開催やイベント等での周知により、県内全域で「田んぼダム」取組の拡大を図ります

・農村整備事業【 なり 】	273,324
・農業水路等長寿命化・防災減災事業【 なり、農防 】	243,267
・農村地域防災減災事業調査計画費【 村振 】	126,000
・水利施設等保全高度化事業実施計画策定費【 村振 】	40,950
・田んぼダム普及拡大推進事業【 村振 】	5,150
・水利施設整備事業【 村整 】※再掲	1,255,104
・基幹水利施設管理事業【 村整 】	293,890
・用排水施設等整備事業【 農防 】	395,407
・農業用河川工作物等応急対策事業【 農防 】	451,500
・防災重点農業用ため池緊急整備事業【 農防 】	628,013

- ◆令和5年、6年に発生した大雨による災害の早期復旧等に取り組みます。

・農地災害復旧費【 農防 】	1,837
・施設災害復旧費【 農防 】	37,278
・県営災害復旧費【 農防 】	518,637

農業・農村の将来像

地域経済を支える農業



関係人口や移住希望者に選ばれる農村



第3期みやぎ農業農村整備基本計画(R3～R12)における施策の推進方向

基本項目Ⅰ 人口減少下で持続的に発展する農業の振興(儲ける農業)

施策1 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化

- ① アグリテックの推進に向けた基盤整備
- ② 時代のニーズに対応した農業技術の確立と現地普及

施策2 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

- ① 農業の成長産業化に向けた農業基盤整備
- ② 中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保
- ③ 担い手への農地集積・集約化の推進
- ④ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(農業用水の安定供給)

施策3 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立

- ① 大規模露地園芸の振興

基本項目Ⅱ 多様な主体が活躍できる農村の構築(活力ある農村)

施策4 関係人口と共に創る活力ある農村

- ① 農村を支える人材育成と体制整備
- ② 交流拡大による関係人口の創出
- ③ 農村におけるデジタルトランスフォーメーションの推進

施策5 地域資源を活用した多様ななりわいの創出

- ① 地域資源の掘り起こしと磨き上げ
- ② 地域運営組織等による地域資源を活用したなりわいの創出
- ③ 「地消地産」による地域経済循環の構築

施策6 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり

- ① 農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮
- ② 土地改良区の体制強化
- ③ 野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大

基本項目Ⅲ 自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化(強靱な農業・農村)

施策7 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

- ① 農村の防災機能の充実
- ② 田んぼダム等農村地域の有する洪水調節機能の効果的な発揮
- ③ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(排水機能の維持・保全)
- ④ 農村地域の生活環境の維持